

1. 会議名 南部町子ども・子育て会議（平成 28 年度）	
2. 日 時 平成 29 年 2 月 7 日（火）19 時 00 分～20 時 30 分	
3. 場 所 健康管理センターすこやか 1 階会議室	
4. 出席者 <委員>南部町子ども・子育て会議委員 10 名（1 名欠席） <事務局>町長、町民生活課長、健康福祉課長、教育委員会総務・学校教育課課長補佐、町民生活課保育・学童担当、健康福祉課子育て支援・計画担当	
5. 次第 1 開会 2 委嘱状交付 3 町長挨拶 4 自己紹介 5 会長・副会長選出 6 議事 (1) 教育・保育の提供体制の確保状況について (2) 地域子ども・子育て支援事業の実施状況について 7 閉会	
6. 配布資料 <事前配布>会議次第 資料 1：教育・保育の提供体制の確保状況について 資料 2：地域子ども・子育て支援事業の実施状況について 南部町子ども・子育て支援事業計画 <当日配布>資料 1：子ども・子育て会議委員名簿 資料 2：子ども・子育て会議の役割	
7. 会議内容	
健康福祉課長	1 開会
町長	2 委嘱状交付
町長	3 町長挨拶 3 年前と比べて、子どもの保育の状況に大きな変化があり、0 歳児と 1 歳児の多くが園に入る状況がある。今後の保育の質や量をどう予測するのか、町の子育て施策に何が必要かご意見をいただきたい。
健康福祉課長	4 自己紹介
健康福祉課長	5 会長・副会長選出 議事の進行は会長が務めることとなっているが、今回は健康福祉課長進行で了解いただきたい。
	6 議題

事務局（説明）	<p>(1) 教育・保育の提供体制の確保状況についての説明</p> <p>【資料 1：教育・保育の提供体制の確保状況について】</p>
健康福祉課長 （進行）	今の説明について、質問等はあるか。
委員（質問）	年度途中の待機への対応として、保育士の具体的な確保策はどのようなことか。保育士が確保できないという情報が伝わりきれていないところがあるのではないか。
事務局（回答）	情報なんぶ、ハローワーク、役場のポスター掲示、保育職員の知人への声掛けを促している。
事務局（回答）	町外で小規模保育が多くできていることから、条件のよいところへ保育士が流れている実態があり、保育士の確保が厳しい。0歳～2歳の保育をどうすべきか町としては悩ましい課題がある。
委員（意見）	<p>現場からすると、あと1名確保できれば、受入可能な現状があるのに、なかなかこれといった解決策がない話だと思う。保護者の立場からすると「なぜ確保できないのか」となる。知恵は出しておられて結論は出ない話だと思うが、何か方策を出していかないといけない。</p> <p>米子市も待機が出ていて、希望の園を1～12まで書き、12番目になることもあると聞く。西部地区で保育士確保の課題は同じだと思う。何とかできないかと思っている。</p>
委員（意見）	保育士の処遇改善について、ニュースでも取り上げられていた時期があった。大変な仕事だと思うし、広報やハローワークで募集するのはもちろん必要だが、今おられる方の離職防止について何かできないものかと思う。過酷な状況の保育士を守って頂ける方策を考えていただけたらと思う。
委員（意見）	<p>在職者の負担軽減が重要と考えている。若い保育士が多いと、産休育休の入れ替えもあり日々人員配置に苦労している。</p> <p>処遇改善については町へもお願いをしており、少しずつでも改善されればと思う。早朝と夕方の開所時間に対応するため、育休明けの保育士でも時短勤務が取れないため、母となっても働ける状況を作りたい。米子から通う人は、家から近い勤務先で働きたい人が多い。</p> <p>実習生を受け入れたが、みんな都会で働くことを希望していた。</p>

事務局（回答）	<p>都会も保育士不足で、都会に人が流れている。園の規模が小さいこともメリットのような。小規模保育、家庭的保育をすべきか悩むところ。</p>
委員（意見）	<p>外孫が育休明けで待機児童になったため、自分が孫育てをしている。園で対応できない早朝などの時間帯は、サポートや家庭的保育、2歳までは小規模園でもよいのかなとの考えもあるが、2歳になったとき入所できる園がないため、仕方なく幼稚園へ入れられる向きもある。早朝と夕方の保育士の確保は難しい。資格者の確保も難しい。家庭的保育をしてくださる方があるかどうか。どこかの施設で交代で見ることができればいいと思うが、見てくれる人があればの話だと思う。</p>
事務局（説明）	<p>（2）地域子ども・子育て支援事業の実施状況について  <b>【資料2：地域子ども・子育て支援事業の実施状況について】</b></p>
健康福祉課長（進行）	<p>今の説明について、質問等はあるか。</p>
委員（質問）	<p>法勝寺児童館について、昨年度は場所について心配をする意見もあり、子ども・子育て会議でも議論をした。開設してからどのような状況かを教えていただきたい。</p>
事務局（回答）	<p>開館して1年、好評をいただき安心して利用して頂いている。子どもの遊び場として、自主的に遊ぶ子どもたちの姿も見られる。子ども・子育て会議では、小学生の居場所として議論したが、中学生の利用も多くある。中学生の居場所が確保できたことも良かった。</p> <p>学童保育で児童館を利用することについても、「あり方検討会」で検討し、夏休みにプラザと児童館の2か所で行ってみた。結果、保護者の反応も良く、指導員からも、2か所に分かれたことで全体的に良かったとの評価を頂いている。</p>
委員（意見）	<p>児童館では、職員一同、子どもの居場所づくりを頑張っている。多世代の新たな地域の交流の場になることも期待している。</p>
委員（意見）	<p>ファミサポについては、平日は一時保育に預けることができるので、土日、朝などの時間外のニーズに対応している。時間外に対応してもらえる会員の確保も必要。</p>

委員（質問）	乳児家庭全戸訪問では、保健師が家庭に入ることができるので助かっている。養育支援訪問の件数は、もっとあるのではないか？訪問自体は増えている印象がある。
事務局（回答）	件数は実家庭数で、訪問の延回数は平成 27 年度で 33 回。平成 28 年度も回数としては増加傾向にある。
事務局（説明）	<p>今後町として、意見をいただきたいと思っていることが 3 つある。</p> <p>一つに、0～2 歳の保育を町がどこで見ろべきか、簡単な方法として、小規模保育を新たにつくことも考えられるが、長い目で見たときにそれが良いのか、園との連携は可能なのかも思う。</p> <p>二つ目に、病児保育の利用者負担を 3 年間無料としていたが、一定の方の利用に偏ることや、利用者から料金をとってほしいとの声も聴いている。負担をどうすべきかと考えている。</p> <p>三つ目に、保育園の通園世帯にガソリン券を 2,000 円補助しており、園に通っておられる方には喜んでいただいているが、平成 30 年度には見直したい。どういうところにお金を使うべきか、今後皆さんからご意見をいただきたいと思っている。</p>
事務局（連絡）	次回は平成 29 年度、計画の第 4 章の進捗について報告し、意見をいただく予定としている。
健康福祉課長	7 閉会